

## 検討事項 2 個別支援プランの記載内容について

個別支援プランには、重要な個人情報が掲載されるため、その記載内容は、慎重に議論する必要があります。

具体的には、

- ① 個人情報の漏洩の心配があるため、記載内容を厳選するという考え方
- ② 避難支援や避難先での留意事項等、寝室の位置など、避難支援や救助の際に有効な情報を可能な限り記載しようという考え方
- ③ 記載方法を簡便にするため、身体の状態などの留意事項は、選択方式で記載する考え方。
- ④ 何が不自由で配慮があるかの記載に力点を置き、何の病気だからとか、どんな障害だからあえて記載しないという考え方

本市の場合は、作成した個別支援プランが、避難支援や避難生活に役立たないのでは意味がないので、ある程度必要事項は記載することとし、記述を簡便にするため、留意事項等を選択する方式を採用する方向です。

記載検討項目については、以下のとおり

- ① 避難支援者情報（氏名、住所、電話・FAX 番号、メールアドレス、寝室・居室の位置や状況 身体の状態）
- ② 緊急時の家族の連絡先（氏名、関係、住所、電話番号等）
- ③ 避難支援者情報（氏名、関係・所属、住所、電話番号等）
- ④ かかりつけ医および携行する医薬品等
- ⑤ 緊急通報システムの有無
- ⑥ 情報伝達・避難誘導時および避難先での留意事項

個別支援計画

- ① 国ガイドラインに示す様式案・・・裏面参照
- ② 市個別支援計画案・・・資料NO. 10 全体計画（案）参照

避難支援プラン・個別計画 (表)

平成 年 月 日

情報共有についての同意

〇〇市長殿

私は、災害時要援護者登録制度の趣旨に賛同し、同制度に登録することを希望します。また、私が届け出た下記個人情報をも市が自主防災組織、民生委員、社会福祉協議会、消防署、警察署に提出することを承諾します。

自治 区名		民生 委員		TEL FAX	
災害時要援護者 <高齢要介護者・一人暮らし高齢者・障害者・その他( )>					
住所				TEL FAX	インターネット(電子メール、携帯メール等)も含めた情報伝達手段
氏名	(男・女)		生年 月日		
緊急時の家族等の連絡先					
氏名		続柄( )	住所		
氏名		続柄( )	住所	TEL	
家族構成・同居状況等			居住建物 の構造	木造二階建て、昭和〇年着工。	
妻と二人の老夫婦世帯。長男・次女はいずれも結婚して県外に居住・・・。			普段いる部屋	木造、鉄骨造、耐火造、着工時期等	
寝室の位置					
特記事項 要介護度4で一人では歩行が困難。人工透析を受けている。聴覚障害もあり、手話通訳が必要					
緊急通報システム (あり・なし)				肢体不自由の状況、認知症の有無、必要な支援内容等。特段の必要がなければ、プライバシーに配慮し、病名等を記入する必要はない。	
避難支援者					
氏名		続柄( )	住所		
氏名		続柄( )	住所		

(裏)

避難勧告等の伝達者・問合せ先 〇〇××さん(自治会副会長)。なお、〇〇介護センターからも伝達予定。 ※ 聴覚障害のため、FAX・直接的な伝達が必要	
その他 担当している介護保険事業者名、連絡先等	避難所、注意事項等を記載し、利便性を高める
避難所	避難所(集会所)
避難支援者宅	豪雨時等はマンホールに注意
避難支援者宅	冠水に注意
避難所の要援護者班: 〇〇さん、△△さん、□□さん 福祉避難室: 1階和室	